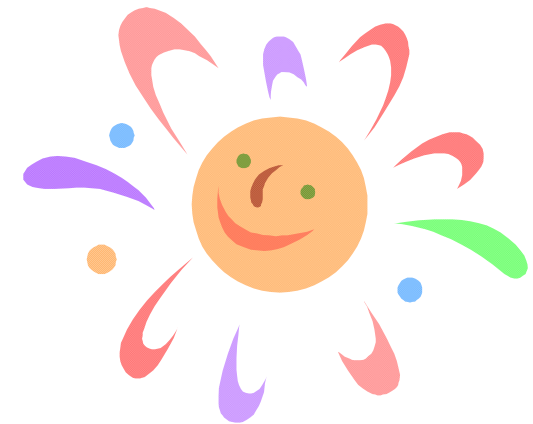


太陽光発電システムの普及に向けた今後の展開像

「太陽光発電システムの現状と今後の展開 ～チャレンジャーからチェンジャーへ～」より

1. 太陽光発電に関する取り組みの大転換の始まり
2. 今日の日本の太陽光発電市場のポテンシャルと今後
3. 我が国太陽光発電産業の発展像
4. 制約なき利用拡大に向けた取り組みにより想定可能な2030年導入目標量
5. 太陽光発電システムの今後の展開像

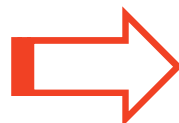
第2回 気候変動に関する有識者会合
2018年1月17日
株式会社資源総合システム



1. 太陽光発電に関する取り組みの大転換の始まり

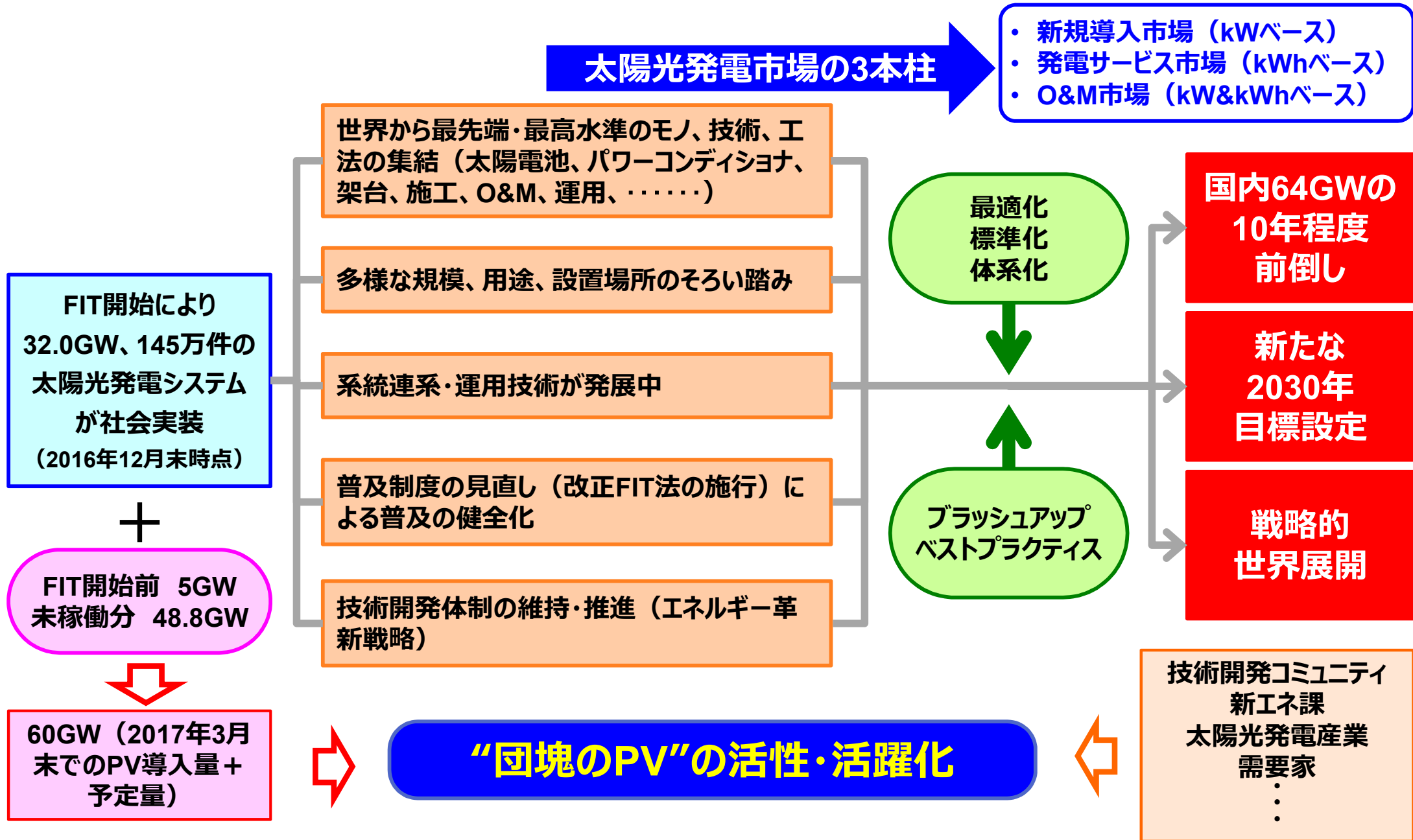
～2015年	2016年～
<ul style="list-style-type: none">・ 基幹エネルギーを目指す時代・ kWベースでの安価を実現する時代・ 施策に依存する時代・ 国主導の市場創出・ 電力供給を担う太陽光発電システム・ 単純な太陽光発電システムによる電力供給・ 製造主導の市場形成・ 太陽電池中心の太陽光発電産業形成	<ul style="list-style-type: none">・ 基幹エネルギーとして行動する時代・ kWhベースでの安定電源化を追求する時代・ 施策に貢献する時代・ 産業主導の市場展開・ 新たな社会・経済基盤を担う太陽光発電システム・ 太陽光発電システムネットワークによる電力供給・ 利用主導の市場形成・ 発電をベースとする太陽光発電産業形成

チャレンジャー

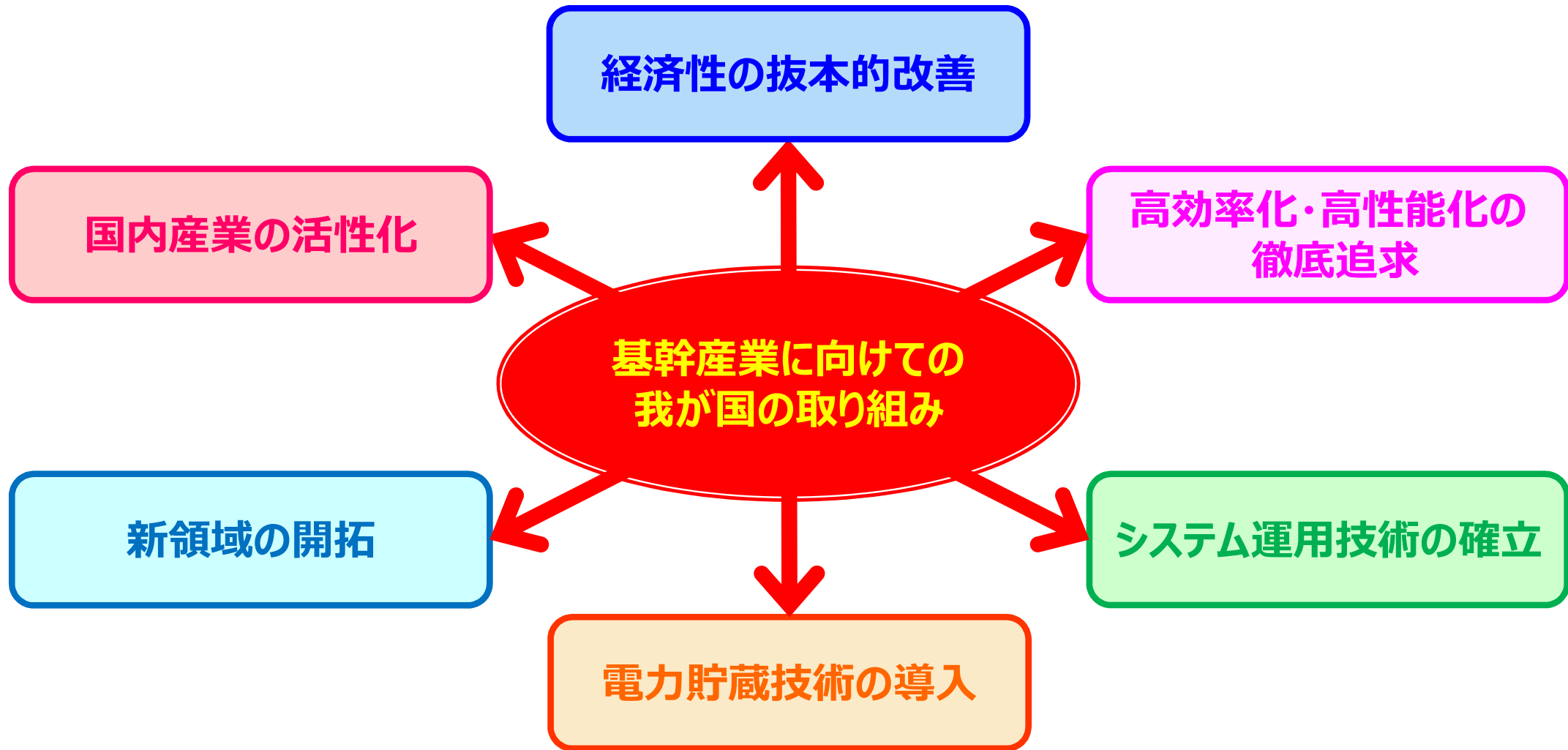


チェンジャー

2. 今日の日本の太陽光発電市場のポテンシャルと今後



3. 我が国太陽光発電産業の発展像



4. 制約なき利用拡大に向けた取り組みにより想定可能な2030年導入目標量

(電力需要と太陽光発電導入量)

電力需要の形態	電力需要分野	電力需要 億kWh (2015年度)	太陽光発電導入目標量想定 GW (億kWh)		
			2016年	2030年	電力供給率 (対2015年度)
1. 大規模電力供給 (大企業・産業、大口業務などの“ 生産エネルギー ”に対応)	産業	3,021	20 (200)	30 (300)	10%
	大口業務	2,381		36 (360)	15%
2. 民生用分散型 (家庭用、商店、病院、公共施設などの“ 生活エネルギー ”に対応)	小口業務	1,021	22 (220)	20 (200)	20%
	家庭	2,676		54 (540)	20%
3. 新規分野電力供給 (新たな社会ニーズに対応)	EV、水素他	(179) + α	-	10 (100)	-
(合計)		9,278 + α	42 (420)	150 (1,500)	15%

1kW = 1,000kWh/年

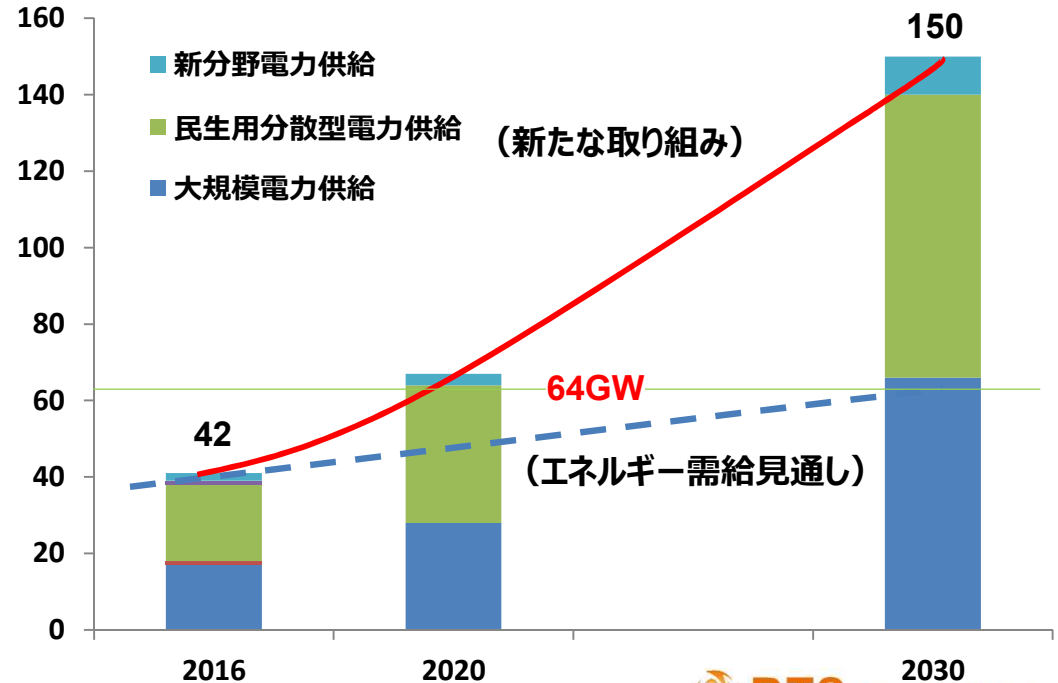
今後に期待される国内市場規模

— 2030年には150GW+の導入も可能に

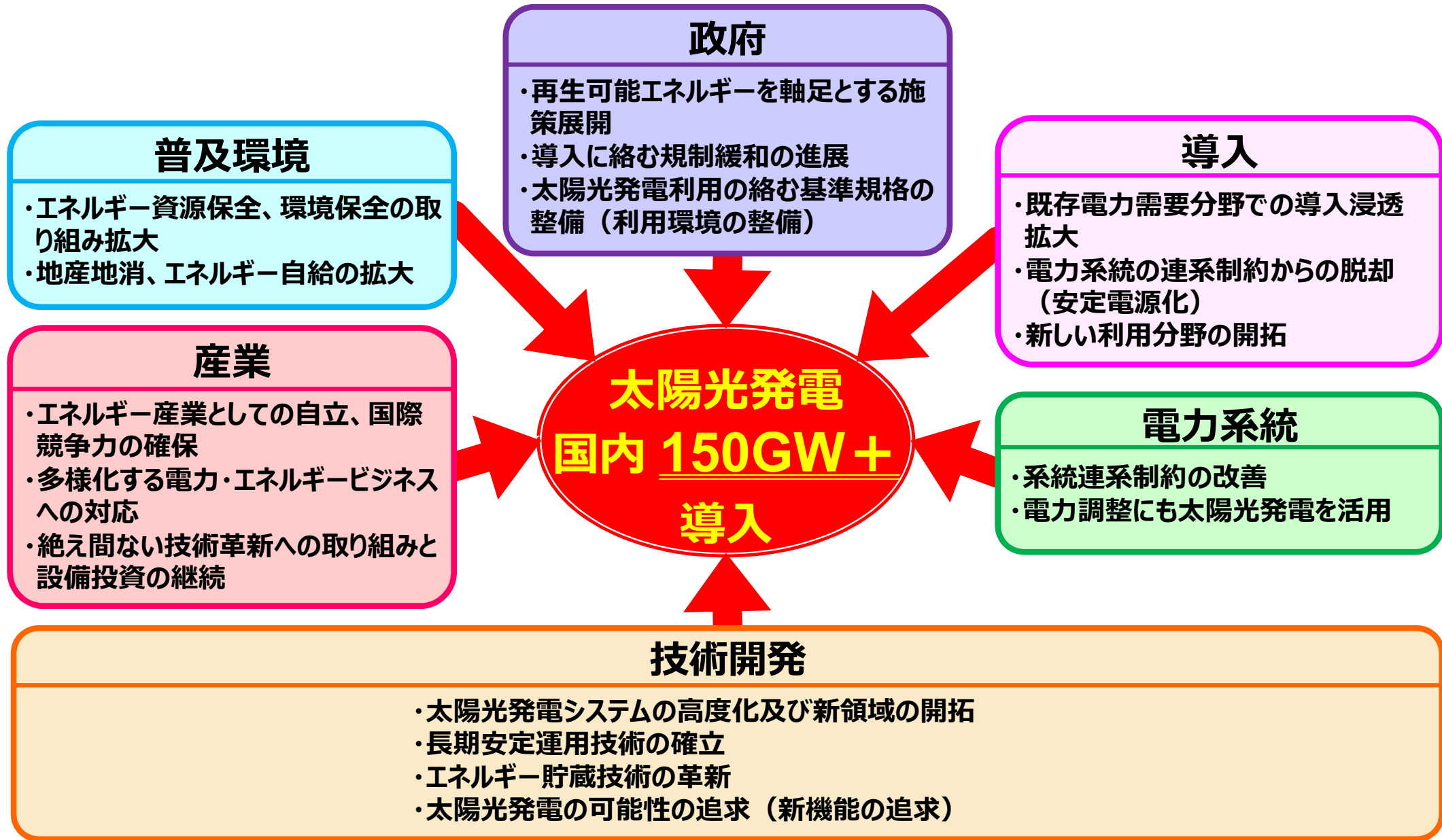


- 太陽光発電産業の国際競争力向上
- 新たなエネルギー需給構造を主導
- 民間の設備投資を喚起
- 脱炭素社会形成で、世界をリード

導入量 (GW)



5. 太陽光発電システムの今後の展開像



“国が動く” → “国を動かす”